

I ♥ KP

京都議定書大好き

“ I ♥ KP ”って、どういうこと？
どうして、今さら？



京都議定書大好き

京都議定書 “KP” って？

温室効果ガスを減らすことを決めた、
世界で最初の約束が**京都議定書**。
英語で “**Kyoto Protocol (KP)**”

1997年に京都で、
地球温暖化を防ぐために合意された。

世界の人たちが、気候を守ろうと
がんばるきっかけになったのが“**KP**”。



京都議定書大好き

“KP”の約束。

最初の約束は、
2008～2012年に、先進国が
温室効果ガスを5%減らすことだった。

エネルギーをたくさん使って
CO₂をたくさん出してきた豊かな先進国が
がんばるのはあたりまえのこと。

アメリカが“KP”から抜けてしまったけど、
日本は残って、「マイナス6%」を約束した。



京都議定書大好き

2013年からは？

最初の約束は、2012年末で終わった。
けれど、2013年からも
京都議定書が続くことになった。
2020年から新しいルールが始まるまで、続く。

“**KP**”は、削減を義務化する唯一のルール。
失えば、「何もなかった時代」に歴史が逆戻りする。
だから、多くの国が、“**KP**”を続けることを支持した。



京都議定書大好き

でも、日本は…

ところが、日本は
「"KP"の義務はもうイヤ」だと、背を向けた。
なぜなら、「アメリカや中国が入らないから」と。

アメリカも中国も、もちろん、がんばらないといけない。
でも「あなたがやらないなら、私もやらない」って、
それでいいのだろうか？

今のところ世界の約束は"KP"しかないのに、
それを作った国が逃げてしまって、いいのだろうか。



京都議定書大好き

2℃。

世界は今、地球の気温上昇を
2℃以下に抑えるために話し合いを続けている。

このままだと、気温は4℃も上がるかもしれない。
とり返しのつかない環境異変が起きてしまう。

世界の国々のCO₂を減らす目標は、まだ足りない。
もっとがんばらなくてはならないんだ。

温暖化の対策は、「待ったなし」どころか、
「手遅れ」の一手手前だ。



京都議定書大好き

約束が、大切。

2020年まで、
「自主的にやります」と言うか、それとも、
「削減を約束します」と言うか。

“**KP**”よりも前にできた条約は、
「自主的に努力する」ことを決めたけれど、
実際に排出を減らすことができなかった。

大切なのは、「約束」だ。



京都議定書大好き

約束する国、しない国…

EU、オーストラリア、ノルウェーなどは、
2013年からも“**KP**”の約束をする。

日本・ロシア・ニュージーランドは、
2013年からは“**KP**”の約束をしない。

アメリカ・カナダは、京都議定書にすら参加しない。

途上国にこれからの行動を求めたいとき、
どのグループが一番、説得力があるだろう。



京都議定書大好き

つなぐ。

日本でも、多くの人たちが「マイナス6%」のためにがんばってきた。新しい取組みやビジネスも広がった。

今ある“**KP**”をもとにして、
今までのがんばりを、未来につなぐ。

これからも「約束」し、
2020年からの世界全体の「約束」につなぐ。

つなぐことは、“**KP**”の大切な役割。



京都議定書大好き

もう一度。

日本にとって、“**KP**”は過去ではない。

今からでも遅くはない。

“**KP**”の下で、CO₂を減らすことを約束しよう。

そして、世界の流れにのって、25%をめざしていこう。

貧しい国の人たちや未来の子どもたちに降りかかる
気候危機。日本も責任がある国だ。

“**KP**”で約束して、気候を守ろう。

I ♥ KP

京都議定書大好き

“ I ♥ KP ” って、つまりは、

I ♥ KP

京都議定書大好き

**世界のルールで気候を守ること。
今だからこそ、必要なこと。**



地球温暖化を防ぐために
提案×行動するNPO/NGO